

ビニルエステル樹脂系防食仕上材「ケミクリートSV」に
防水機能を強化した新工法が誕生

本ページに掲載されている情報は発表当時のものであり、
最新のものと価格・仕様が異なる、もしくは販売が終了している可能性があります。

最新情報をご確認ください。

[最新情報を見る](#)



写真はイメージです。

ビニルエステル樹脂系防食仕上材「ケミクリートSV」に
防水機能を強化した各種ピット、防液堤限定の新工法が誕生しました。

開発経緯

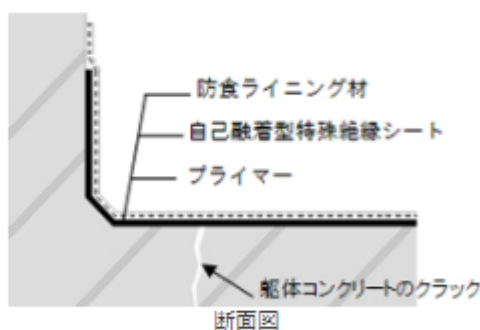
防食工事に対応する「ケミクリートSV」は、主に各種ピット、防液堤に使用されますが、それらの場所では防水機能についても強く求められています。防水機能を高めるためには下地クラックへの追従性が必要となるため、躯体と防食材層の間にフレキシブル性を持つ自己融着型特殊絶縁シート層を設けることでこの問題に対応した新工法「絶縁ライニング工法」を開発しました。

▶ [「ケミクリートSV」の商品情報はこちら](#)

安心の防水性能

自己融着型特殊絶縁シートと、ビニルエステル樹脂系防食ライニング材の複合により、クラック追従性を大幅に改善します。万が一の地震などでクラックが生じた場合でも、自己融着型特殊絶縁シートが躯体コンクリートのクラックから防食ライニング材の破断を防止し、各薬品からコンクリートの劣化を防ぎます。

また、すぐれた粘着性を持つ自己融着型特殊絶縁シートにより、長期間躯体コンクリートとの一体化が可能です。



断面図



自己融着型特殊絶縁シート

施工工程

- ① コンクリートの表面処理
↓
- ② プライマーの塗布
↓
- ③ 自己融着型特殊絶縁シート貼り付け
↓
- ④ 自己融着型特殊絶縁シートの継ぎ目処理
↓
- ⑤ 防食ライニング材の貼り付け（ガラスマット+サーフェスマット）
↓
- ⑥ 欠陥部検査および処理
↓
- ⑦ 上塗り材の塗布（クリア仕上げ）
↓
- ⑧ 完了検査

おもな施工場所

各種廃液処理施設、純水槽、化学工場、食品工場、製薬工場など。

材工設計価格

お問い合わせ下さい。

[▶ お問い合わせはこちら](#)

[▶ お電話・FAXでのお問い合わせはこちら](#)

-
- 掲載されております商品の表示価格は税抜き価格です。
 - 掲載されている情報は発表当時のものであり、最新のものと価格、品番、販売終了など情報が異なる可能性があります。ご了承ください。

[▶ 2011年度一覧へ戻る](#)